



AIサーマルカメラ一式を寄贈した山村桂次さん(中央)＝大野町役場

大野町に検温機器贈る

山村碎石と
大垣西濃信金

碎石業の山村碎石(大野町黒野)と大垣西濃信用金庫は20日、大野町に体温測定用のAIサーマルカメラ一式(14万円相当)を寄贈した。

発行手数料の一部を企業が指定した団体などへの寄付に充てる同金庫の地域貢献型私募債「絆」を活用。

同社の山村桂次さんと同金庫の片野清法大野支店長が町役場を訪れ、山村さんが「生まれ育った町に貢献できてうれしい。今後も町

とともに発展したい」と、宇佐美晃三町長に目録を手渡した。

宇佐美町長は「道の駅パレットピアおおのに併設す

る『子育てはうすばすて
る』の入り口に設置する。
大いに活用したい」と感謝
した。
(武藤直子)